

条例等議案関係（概要）

議案番号	議案名	内 容
報 告 第35号	熊本県教育委員会の 点検及び評価報告書 の提出について	令和3年度の熊本県教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に関する点検及び評価報告書の提出（地方教育行政の組織及び運営に関する法律） ・報告書は、別冊のとおり。 ・報告書の概要については、以下のとおり。

1 報告書について

- 本県教育行政の効果的な推進及び県民への説明を目的とし、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の規定に基づき、県教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を実施した。

2 報告書第1部 教育委員会の活動状況

- 教育委員会（教育長、教育委員5名）は、会議や学校訪問等を実施した。
 - ・会議の開催（定例会 12回）
 - ・学校等訪問（県立鏡わかあゆ高等支援学校他6校）
 - ・学校行事への出席（100周年記念式典など4校）
- 教育委員会の活動内容について、マスコミへの情報提供とともに、広報誌やホームページ等を活用して情報発信を行った。

3 報告書第2部 「第3期くまもと『夢への架け橋』教育プラン」に関連する教育施策の実施状況

- 「第3期くまもと『夢への架け橋』教育プラン」で設定している全15の指標のうち、策定時に比べ改善した指標は8指標、横ばいは5指標、悪化した指標は2指標となっている。改善していない指標については、引き続き目標達成に向け、課題への対応を進めていく。

全指標	改善 	横ばい 	悪化 
15指標	8指標	5指標	2指標

※第3期プラン中、重点的に取り組む事項については、「夢を実現する重点取組」として10項目を掲げており、当該事項については、“★”で表示した。

4 令和3年度の主な取組、課題・今後の方向性について（概要）

令和3年度の主な取組	課題・今後の方向性
【基本的方向性1】家庭・地域の教育力向上	
（重点取組）★ 家庭教育支援にしっかり取り組みます	
★「親の学び」オンデマンド講座を開発し、DVD 配付や県のホームページ掲載により普及を図った。	★双方向型のオンライン講座実施に向けた環境面・技術面の課題に対する支援が必要。
【基本的方向性2】安全・安心に過ごせる学校づくり	
（重点取組）★ 子供たちが安全・安心に学ぶ学校をつくります ★ 貧困の連鎖を教育で断ち切ります	
★熊本県人権子ども集会（オンデマンド）及び人権教育に係る教職員の資質や実践的な指導力を高めるための研修会等を実施。	★教職員の人権問題への基本的認識を深めるため、研修内容及び指導資料の工夫・改善が必要。
★いじめへの対応として各学校が配置した情報集約担当者向け研修を実施。また、県立学校生徒を対象とした「いじめ匿名連絡サイト（スクールサイン）」を運用。	★情報集約担当者向け研修において組織的な対応を指導し、児童生徒が安心して学校に相談できる体制を構築する。
★スクールカウンセラー（83人）、スクールソーシャルワーカー（21人）を配置し、不登校児童生徒等に対し連携して支援を実施。	★欠席が10日に達する前に専門家の支援につなぐ「愛の1・2・3運動+1」の取組の更なる推進が必要。
【基本的方向性3】確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成	
（重点取組）★ “生きる力”の基礎となる学力向上を図ります	
★『熊本の学び』アクションプロジェクトとして、「誰一人取り残さない学びの保障」と「教員一人一人の授業力向上」の二本柱で各市町村立学校の支援に取り組んだ。	★「熊本の学び」ステップアップ研修を実施し、課題解決に向けた教員の指導力向上を図り、児童生徒の学力向上を目指す。
★「高校生のための学びの基礎診断」活用方針を定め、方針に基づき、各県立高校において「基礎学力定着のための指導計画」を策定。	★「基礎学力定着のための指導計画」におけるPDCAサイクルの確立に向け、学校訪問等を通じた指導・助言を行う。
【基本的方向性4】障がいや多様な教育的ニーズに応える	
（重点取組）★ 障がいのある子供の学びを支えます	
★特別支援学校の児童生徒の進級や進学等の実態を踏まえ、個別の教育支援計画の作成・活用・引継に係るガイドラインを令和4年1月に改訂。	★教育支援の方法等を引き継げるよう、個別の教育支援計画の意義についての理解啓発を図る。
・熊本市と合同で夜間中学についてのニーズ調査を実施。	・熊本市と連携し、令和6年4月の開校に向け、計画的に設置準備を進める。

【基本的方向性1】家庭・地域の教育力向上

指標名	策定時	目標値	R3実績値	策定時比
保護者が家庭教育について学んだ園・学校の割合（★） （「親の学び」講座等を実施した園・学校の割合）	就学前 34.4% 小学校 99.6% 中学校 97.4% <R2.3>	就学前 50% 小学校 100% 中学校 100% <R6.3>	就学前 29.5% 小学校 87.7% 中学校 64.7% <R4.3> (参考) R2実績値 就学前 8.0% 小学校 64.9% 中学校 51.3% <R3.3>	

【基本的方向性2】安全・安心に過ごせる学校づくり

指標名	策定時	目標値	R3実績値	策定時比
いじめを受けた児童生徒で、誰かに話をした、又は自分で解決できると答えた割合（★）	80.4% <R元.12>	100% <R5.12>	78.9% <R3.12> (参考) R2実績値 79.1% <R2.12>	
不登校の児童生徒が、教職員だけでなく専門家からの支援を受けている割合（★） （公立小中学校）	89.7% <R2.3>	100% <R6.3>	90.6% <R4.3> (参考) R2実績値 84.2% <R3.3>	

【基本的方向性3】確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成

指標名	策定時	目標値	R3実績値	策定時比
児童生徒の学力が向上した割合（★） （小中学校） （全国学力・学習状況調査で全国平均を上回った項目数）	1/5項目で全国平均を上回る <H31.4>	すべて全国平均を上回る <R5.4>	1/4項目で全国平均を上回る <R3.4> (参考) R2実績値 なし（調査中止）	
生徒の学力が向上した割合（★） （高等学校） （「高校生のための学びの基礎診断」で学力が向上した生徒の割合）	52.9% <R2.3>	65% <R6.3>	53.9% <R4.3> (参考) R2実績値 55.1% <R3.3>	
児童生徒の体力が向上した割合 （全国体力・運動能力、運動習慣等調査で全国平均を上回った種目数の割合）	70.6% (24/34種目) <R元.12>	100% (34/34種目) <R5.12>	76.5% (26/34種目) <R3.12> (参考) R2実績値 なし（調査中止）	

【基本的方向性4】障がいや多様な教育的ニーズに応える

指標名	策定時	目標値	R3実績値	策定時比
児童生徒が切れ目なく支援を受けられる割合（★） （個別の教育支援計画の小学校から高等学校までの引継ぎの割合）	64.7% <R2.9>	100% <R6.9>	83.4% <R3.9> (参考) R2実績値 64.7% <R2.9>	
特別支援学校において生徒が就職できた割合（★） （就職希望者数に占める就労継続支援A型を含む就職者数の割合）	88.7% <R2.3>	100% <R6.3>	98.2% <R4.3> (参考) R2実績値 97.5% <R3.3>	

【基本的方向性5】 キャリア教育の充実とグローバル人材の育成	
(重点取組) ★ 英語教育日本一を目指します ★ 進学や就職の夢を叶えます	
★県立高校(全日制)においてインターンシップを実施。	★特に普通科生徒のインターンシップ体験の増加が課題。
★英語外部検定試験受験料に係る市町村への補助や低所得世帯への受験料補助を実施。	★1、2年生からの積極的な受験を推進するなど、英語力向上のための取組を着実に進める。
★八代中学校・高校を国際バカロレアの認定に向け申請する学校に選定。	★本県の国際バカロレア教育への認知度は高くないため、生徒募集に向けた周知活動に力を入れる必要がある。
【基本的方向性6】 魅力ある学校づくり	
(重点取組) ★ 魅力ある学校づくりを進めます	
★熊本スーパーハイスクール構想に基づき、各学校の特色を明確化するスクール・ミッションを策定。	★「県立高等学校あり方検討会」の提言に基づき、引き続き、魅力化に向けた取組を実施していく。
★防災型コミュニティ・スクールから総合型への移行手続きが完了し、令和4年度から全ての県立高校・特別支援学校が総合型に移行。	★教育課程や学校経営計画等にも地域の声を反映し、地域に開かれた学校運営に努める必要がある。
【基本的方向性7】 子供たちの学びを支える	
(重点取組) ★ 教員の指導力向上を図ります ★ ICT教育日本一を目指します	
★県立学校宛てに「在校等時間の上限方針」に係る周知チラシを作成し、全教職員に配布。	★勤務時間の適正管理等、働き方改革に係る取組状況に差がみられることから、引き続き周知・啓発を行っていく。
★県立学校(特支18校、定時制2校)の給食費公会計化に向け、条例を制定し、食材調達業務の効率化についても検討を進めた。	★令和5年度から、学校給食を実施している県立学校において学校給食費の公会計化を実現する。
★県立学校について、1人1台端末及び普通教室等の校内通信ネットワークの整備が完了。	★校内通信ネットワークが未整備の特別教室・体育館等について、整備を完了させる。
【基本的方向性8】 文化・スポーツの振興と生涯学習の推進	
・県スポーツ協会のクラブアドバイザーと市町村を訪問し、総合型地域スポーツクラブの設置促進等に関する情報交換を実施。	・総合型地域スポーツクラブの更なる設置促進及び指導者の育成と活動内容の充実が必要。
【基本的方向性9】 災害からの復旧・復興	
・令和2年7月豪雨で被災した文化財(国・県指定、国登録)は、復旧対象43件のうち22件が復旧。	・引き続き、文化財(国・県指定、国登録)の災害復旧を進める。

【基本的方向性5】キャリア教育の充実とグローバル人材の育成

指標名	策定時	目標値	R3実績値	策定時比
高校生（全日制）がインターンシップを体験した割合（★）	70.2% <R2.3>	80% <R6.3>	50.7% <R4.3> (参考) R2実績値 68.9% <R3.3>	
生徒が英語力を身に付けた割合（★） (中3：英検3級相当取得率 高3：英検準2級相当取得率)	中3 27.1% 高3 32.9% <R元.12>	中3 40.0% 高3 45.0% <R5.12>	中3 32.2% 高3 32.3% <R3.12> (参考) R2実績値 中3 26.3% 高3 34.4% <R2.12>	中3 高3

【基本的方向性6】魅力ある学校づくり

指標名	策定時	目標値	R3実績値	策定時比
入学を希望する生徒が増加した県立高等学校の学科・コースの割合（★）	50.3% <R2.9>	80% <R6.9>	53.5% <R3.9> (参考) R2実績値 50.3% <R2.9>	

【基本的方向性7】子供たちの学びを支える

指標名	策定時	目標値	R3実績値	策定時比
教職員の時間外在校等時間が年360時間以内となっている割合（★）	45.6% <R2.3>	100%に向け 前年度より増加 <R6.3>	50.6% <R4.3> (参考) R2実績値 50.8% <R3.3>	
学校における情報化が先進的である地域の数（★）	[市町村立学校] 3地域 [県立学校] 0地域 <R2.3>	[市町村立学校] 44地域 [県立学校] 1地域 <R6.3>	[市町村立学校] 19地域 [県立学校] 0地域 <R4.3> (参考) R2実績値 [市町村立学校] 3地域 [県立学校] 0地域 <R3.3>	

【基本的方向性8】文化・スポーツの振興と生涯学習の推進

指標名	策定時	目標値	R3実績値	策定時比
地域に総合型地域スポーツクラブが設置されている割合	91.1% (県内における総合型地域スポーツクラブ設置市町村41/45市町村) <R2.3>	100% <R6.3>	91.1% <R4.3> (参考) R2実績値 91.1% <R3.3>	

【基本的方向性9】災害からの復旧・復興

指標名	策定時	目標値	R3実績値	策定時比
文化財（国・県指定、国登録）の災害復旧が進んでいる割合 (令和2年7月豪雨)	0% <R2.7>	85% <R6.3>	51% <R4.3> (参考) R2実績値 28% <R3.3>	